

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	08	104550	文化財保護活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		20,569	20,623		54
財源内訳	国費	2,463	5,980		3,517
	県費	0	17		17
	地方債	0	0		0
	その他	13,098	62		-13,036
	一般財源	5,008	14,564		9,556

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標					
文化財を保護し活用する					

事業開始の背景・経緯					
文化財保護法（昭和25年法律第214号）、花巻市文化財保護条例（平成18年条例第242号）により、市内にある各分野の文化財を調査し、重要なものについて指定を行い、その保存、活用及び伝承のため必要な措置を講じてきた。					

事業概要					
文化財の保護 19,140 千円 ・文化財の調査と指定 ・花巻市文化財保護条例（平成18年条例第242号）により、市内にある各分野の文化財を調査し、重要なものについて指定を行い、その保存、活用及び伝承のため必要な措置を講じてきた。 ・市が所有する文化財の適切な管理運営 ・国選択文化財「石鳥岡神楽・土沢神楽」調査 ・個人が所有する指定文化財の管理指導や修理費の補助 ・市所有文化財建造物「花巻城内伊藤家住宅」の修復 ・文化財保存活用地域計画の作成					
文化財の活用 1,483 千円 ・文化財説明板や案内板の新規設置及び修繕 ・文化財調査報告書・花巻市史資料編の作成 ・文化財セミナーや早池峰自然観察会の実施 ・岩手県文化財愛護協会負担金					

担当部署	51250000 教育委員会 文化財	担当課長	平野 克則
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況
市内に多く所在する国・県・市指定の文化財を守り、後世に継承していくことの必要性が要望されており、現状調査等ふまへ、その保存に努めている。

事業手法の詳細 1
文化財保護活用事業 20,623 千円（前年度比 54千円）
1. 文化財の保護 19,140 千円（704千円）
(1) 文化財の調査と指定 1,128千円（524千円） 文化財保護審議会の開催及び同委員の文化財調査経費等
(2) 市が所有する文化財の適切な管理運営 4,928千円（245千円） （国指定）旧小原家住宅・伊藤家住宅・花巻堤ハナショウブ群落・カズクリ自生地 （市指定）熊谷家・花巻城内伊藤家住宅 の維持管理費等
(3) 花巻堤ハナショウブ群落の保存管理 5,559千円（2,293千円） 保存管理検討委員会の開催及び保存管理のためのノハナショウブ詳細調査委託料等 国補助 2,779千円（補助基準額 5,559千円×50%）
(4) 国指定文化財「石鳥岡神楽・土沢神楽」の調査 3,663千円（1,897千円） 調査委員会の開催及び調査報告書（300部）の作成 国補助 1,815千円（補助基準額 3,630千円×50%）
(5) 個人が所有する指定文化財の管理指導や修理費の補助 0千円（増減なし） 修理費補助金（補助率1/2、上限額500千円） R01は申請なし
(6) 市所有文化財建造物「花巻城内伊藤家住宅」の修復 2,310千円（皆増） 花巻城内伊藤家住宅基礎・縁側修復設計業務委託
(7) 文化財保存活用地域計画の作成 1,552千円（皆増） 策定協議会の開催及び地域の文化調査経費等 国補助 1,386千円（補助基準額 1,386千円 定額）
2. 文化財の活用 1,483 千円（650千円）
(1) 文化財説明板や案内板の新規設置及び修繕 806千円（433千円） 市内指定文化財等 6基（新設 3基、修繕 3基）
(2) 文化財セミナーや早池峰自然観察会等の開催 131千円（191千円） 市民向け講座を 3回実施（文化財セミナー 1回、自然観察会 2回）
(3) 文化財調査報告書・花巻市史資料編の作成 507千円（26千円） 一般文化財調査報告書（第14集）300部、市史資料編「御次留書帳」300部
(4) 岩手県文化財愛護協会負担金 39千円（増減なし）

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		23,585	21,804		-1,781
財源内訳	国費	5,671	5,864		193
	県費	847	957		110
	地方債	0	0		0
	その他	11	41		30
	一般財源	17,056	14,942		-2,114

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

文化財を保護し活用する

事業開始の背景・経緯

文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づき、遺跡の周知徹底、遺跡内での開発行為等の把握に努め、保護に必要な指導及び措置を講ずるとともに、保護された遺跡の情報を活用し、市民の埋蔵文化財への理解を深めるよう努めてきた。

事業概要

埋蔵文化財の保護 16,207千円
 ・埋蔵文化財保護のための遺跡情報周知と保護措置（発掘調査・工事立会等）の実施
 ・埋蔵文化財の記録保存調査の実施、市内遺跡の分布状況調査
 ・花巻城跡の遺跡内容確認調査の実施
 ・公有化遺跡の環境整備
 埋蔵文化財の活用 5,597千円
 ・埋蔵文化財・史跡等を活用した各種講座及び講演会・セミナーの開催
 ・埋蔵文化財を活かした地域事業への協力
 ・遺跡標柱の設置
 ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財資料の収蔵・展示
 ・利活用に向けた資料の再整理及び展示・体験学習等の実施

担当部署	51250000 教育委員会 文化財	担当課長	平野 克則
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況
 花巻城跡の保存や史跡の活用等について議会等で指摘があり、調査状況の成果公表や講演会の開催等埋蔵文化財の周知、活用に努めている。

事業手法の詳細 1

埋蔵文化財保護活用事業 21,804千円(前年度比 1,781千円)

- 埋蔵文化財の保護 16,207千円(2,038千円)
 - 発掘届に関する指導・事前調査 8,400千円(40千円)
埋蔵文化財保護のための遺跡情報周知と保護措置（発掘調査・工事立会等）の実施
 - 遺跡事前確認調査、個人住宅等記録保存調査 3,556千円(654千円)
埋蔵文化財の記録保存調査の実施、市内遺跡の分布状況調査
個人住宅の建設によって破壊を免れない遺跡の本発掘調査 1件(蒼前堂遺跡)
民間開発にかかる試掘確認調査 25件
公共工事による試掘調査(都市計画道路、スマートインターチェンジ、道の駅、産業団地) 5遺跡
国補助(対象事業費 3,506千円×1/2)
県補助(対象事業費 2,214千円×11%)
 - 遺跡内容等の確認調査 3,774千円(396千円)
花巻城跡内容確認調査の実施
調査場所 花巻城本丸跡市有地
調査期間 令和元年9月24日～令和元年11月7日
調査面積 275㎡
国補助(対象事業費 3,687千円×1/2)
 - 記録保存調査(受託事業) 0千円(2,177千円)
民間開発や公共工事によって破壊を免れない遺跡を対象とした記録保存調査 0件
 - 公有化遺跡の環境整備 477千円(159千円)
久田野 遺跡、花巻城跡(二ノ丸南御蔵跡地)、毒沢城跡、新堀城跡(遊歩道)
岳山寺跡の草刈り等
- 埋蔵文化財の活用 5,597千円(257千円)
 - 史跡・埋蔵文化財の公開活用 543千円(41千円)
埋蔵文化財・史跡等を活用した各種講座及び講演会・セミナーの開催(年2回)
埋蔵文化財講演会(令和元年8月 4日)、花巻の遺跡を学ぶ会(令和 2年1月18日)
遺跡標柱の設置 4本(塚の森、雄鳥、大畑、下根子)
埋蔵文化財を活かした地域事業への協力
 - 総合文化財センター展示公開・収蔵資料整理 5,054千円(298千円)
総合文化財センター展示公開 企画展4回、体験学習等の実施(随時)
「山博コレクション 山への想い」「亀ヶ森の先人 皇后陛下ゆかりの先人たち」
「豊沢川流域のエミシ」「ぶどう作りにかけた人々 北上山地はポルドーに似たり」
利活用に向けた資料の再整理及び展示(対象遺跡：東和町安俵6区遺跡、清水屋敷 遺跡)
企画展1回：「遺跡のモノガタリ 安俵6区遺跡」、体験学習等の実施(年3回)
国補助(対象事業費 4,537千円×1/2)

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	09	104590	展示活動事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		11,703	26,450		14,747
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	4,000		4,000
	その他	175	385		210
	一般財源	11,528	22,065		10,537

特定財源の内訳

--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展覧会をより理解しやすくするため、関連した各種講座及び体験学習を開催している。

事業概要

資料収集活動 652千円

展示活動 14,378千円

- ・特別展 発掘された日本列島 8/2~9/10
- ・テーマ展 多田等観 6/15~7/15
- 収蔵資料展 9/24~11/17
- 花巻人形 2/15~5/6
- ・共同企画展 松川滋安 12/7~1/26

調査研究活動 11,420千円

担当部署	51300000 教育委員会 博物館	担当課長	晴山弘之
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

花巻の先人を紹介する展示を望む声がある。

事業手法の詳細 1

展示活動事業26,450千円

- 博物館資料の収集及び整理保管652千円
 書画の表具・刀刻の研磨354千円,消耗品298千円
- 資料の展示公開14,378千円
 共通経費 入口看板78,通信費(テーマ展)26,消耗品費641,イベント費12
 計757

開館15周年特別展発掘された日本列島2019 8/2~9/10
 人件費242,謝礼50,旅費467,消耗品(図録買取)69,印刷製本費801,通信費42,広告費432
 開催業務費(各館均等割)4,400,展示造作製作費499,ロードサイン26,地域展展示業務122
 計7,149

テーマ展多田等観6/15~7/15
 展示室ケース移動121
 計121

テーマ展収蔵資料展9/21~11/17
 展示室ケース移動121
 計121

テーマ展花巻人形2/15~5/6
 展示室ケース移動123
 計123

その他の展示・改修事業
 東和コミュニティセンター資料移管・展示212,東和資料館資料移動465
 花巻城御城印、クリアファイル制作業務256,盃修復業務37,展示室関連修復業務839
 企画展示室LED照明改修4,298
 計6,107

- 調査研究11,420千円
 古文書調査200,花巻人形調査230,斎藤宗次郎関係資料保存処理10,868,収蔵資料デジタル化30
 次年度特別展調査旅費35,図書購入57

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	09	104600	教育普及活動事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,004	2,107		103
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	34	100		66
	一般財源	1,970	2,007		37

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会や各種講座及び体験学習を開催している。

事業概要

教育普及活動事業 2,107千円
博物館と学校教育の連携による学習支援
体験学習・各種講座の開催

担当部署	51300000 教育委員会 博物館	担当課長	晴山弘之
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

主に小学校において社会科の総合学習を実施するうえで、博物館と連携することによって、子どもたちの考察力が養われ、地域の歴史や文化を理解する契機となっているとの声が寄せられている。

事業手法の詳細 1

教育普及事業2,107千円

博物館と小中学校が連携（博学連携）して学習メニューを作成したり、博物館資料を活用した社会科の総合的な学習を支援する。また地域の歴史や先人、文化財への理解を深めるため、博物館講座や出前講座、体験学習を行う。

共通経費社会教育指導員報酬報酬1,442千円、保険料216千円、消耗品305千円

直接経費 体験学習勾玉づくり（学芸員対応）2回
こはく玉づくり（学芸員対応）2回縄文弓矢体験（学芸員対応）1回
花巻人形絵付け1回講師謝礼32千円陶芸体験（台焼）1回講師謝礼16千円

講座館長講座（館長対応）2回博物館講座（外部講師）1回講師謝礼30千円
費用弁償66千円博物館講座（学芸員）随時（学芸員対応）
古文書講座（学芸員）5回

博学連携学校見学（学芸員対応）随時学校出前講座（学芸員対応）随時